

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和4年1月5日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4676800156
法人名	社会福祉法人 橋友会
事業所名	グループホーム 南の家族（西館）
所在地	鹿児島県志布志市志布志町志布志二丁目27番18号 (電話) 099-472-8486
自己評価作成日	令和4年1月5日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL <http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/>

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和4年1月26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当施設は、緑に囲まれて公園や海・買い物み便利なショッピングセンターにも近い場所に位置しており、自然の中にも散歩や買い物などは、いつでも出掛けられる便利な環境にあります。ケアについては、理念やケアのモットーに掲げてある、その人らしい生活がおくれるよう一人ひとりの意向を尊重し、ゆっくりと待つことを目指して取り組んでおります。健康面については、定期的な訪問診療や訪問看護リハビリテーションから週1回の訪問を依頼しております。常勤看護師も配置して医療連携が充実して利用者様の健康管理を行っております。食事については、新鮮な食材や旬の物を取り入れ、栄養士に献立作成の協力をもらい安全で美味しい食事の提供を心掛けております。菜園では、苗植えから収穫まで利用者様と一緒にを行い、収穫できた野菜は食事に使用し季節の彩を添えています。野菜の下揃えなど利用者様と一緒に出来る事を取り組みながら手作りにもこだわっています。行事においては、食レクリエーションを取り入れながら毎月の誕生日会や季節ごとに思考を凝らして、笑顔で楽しく過ごして頂くように取り組んでおります。又、運営推進会議に地域の方へ参加して頂く等、地域との関りも大切にしております。共用型通所介護利用もあり、他者との交流も図っています。

西食館

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価
			実施状況	実施状況
I. 理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝、スタッフ全員で「ケアのモットー」「相手の行動を認める声掛け」「接遇目標」唱和し、個々で意識をもって実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	現状は、コロナ禍により地域行事には参加出来ていないが、日常的に散歩や買い物などに出掛けた際に、地域の人たちと挨拶を交わしたり話をしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	コロナ禍により自治会行事等には参加出来ていないが、運営推進会議へ地域の方々に参加して頂き、研修で学んだ事を発表している。	
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議では、利用者の生活状況及び行事への取り組み、ヒヤリハット・リスクマネジメント報告書の提出状況を報告している。意見や要望は職員会議や委員会で話し合って、サービスの向上に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議に市の担当者が参加されて、状況報告したり、市が開催する研修にも積極的に参加して、意見を頂いている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束廃止委員会を設置して指針の掲示や勉強会実施により、職員一人ひとりが身体・精神的弊害を理解し拘束廃止に向けた意識をもち、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	身体拘束廃止委員会を中心に関員会を開催したり、外部研修にも参加している。又、職員に虐待に関するアンケートを実施したり、勉強会を行い、知識を深めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	保佐人対応や社会福祉協議会で金銭管理をお願いしている利用者様がおられて、協力者となって頂いている為、機会あるごとに職員へ説明している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	事業所のケアに関する考え方や重度化の看取りについての対応方針、医療との連携など内容を詳細に説明を行っている。介護報酬改定や利用料金変更についての説明は、個別で行い、同意を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族が家族会・運営推進会議に出席（コロナ禍により書面での対応を含む）されている。その中で、意見や要望を伺い、出された要望や意見は職員会議で話し合いを行い、反映させていく。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員が会議を毎月開催（コロナ禍により書面対応を含む）し、意見や提案を審議する場を設けている。又、個人面談などで個々の意見を聞き反映させていく。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている。	勤務状況を把握し、労働時間の調整などを行っている。個々が向上心を持って労働出来るよう資格取得に向けた支援や研修への参加を促し、働きやすい職場環境作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	なるべく多くの職員が外部研修に参加出来るように計画し、研修後は報告の場を設け職員全員が知識が深められるよう努めている。毎月の勉強会では、管理者が認知症ケアの勉強会を実施し、職員個々での勉強会も企画し実施している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	コロナ禍により同業者との交換研修は出来ていないが、大隅地区介護事業所連絡協議会へ入会しており、この協議会主催のリモート研修等に参加し、情報交換している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	安心した生活が送れるように生活の状況・本人の気持ちや要望を事前に面談にて聞き取りを行い、信頼関係が築けるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族と信頼関係を築けるように不安な部分や要望を事前に十分に聞き取りを行い、ケアの取り組みについても話し合いを行っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時、本人やご家族の思い、状況等を確認し、改善に向けた支援の提案、相談を繰り返す中で信頼関係を築きながら必要なサービスに繋げるようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様は、人生の先輩であるという考えを職員で共有しており、普段から利用者様に教えてもらう場面が多い。又、そのような場面が多くもてるよう工夫している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月、写真入りの支援経過報告書で利用者様の様子や職員の思いをきめ細かく伝えることで、家族と職員の思いが徐々に重なり、本人を支えていく為の協力関係が築けてきている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍により馴染みのある行事等には参加出来ていないが、昔から利用している美容室に行き続けている利用者様もおり、一人ひとりの生活習慣を尊重している。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個別で話を聴いたり、リエーションで、皆で楽しく過ごす時間や気の合う者同士で過ごせる場面づくりをする等、利用者同士の関係が上手くいくよう職員が調整役となって支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他事業所へ移られた方にも面会に伺ったり、当施設への訪問もあり、付き合いが継続出来ている。退居された家族からの相談も隨時対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
		○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々接する中で、本人の思いや要望を傾聴し、気持ちを汲み取り、出来ない事より出来る事に注目して、その人全体の把握努力している。		
23	9	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族等から生活環境や生活歴を聞き取り、事前面談を行っている。入居前にサービス利用している事業所からの情報収集も行い把握に努めている。入居前に来所にて、カンファレンスの開催もある。		
24		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者様一人ひとりの生活リズムを理解すると共に行動や小さな動作から感じ取り、本人の全體像を把握している。		
25		○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族には、日頃の関わりの中で、思いや意見を聞き、反映させるようにしている。アセスメントを含め職員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。		
26	10				

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別チェック表へ食事摂取量・水分摂取量・排泄等身体的状況を記入している。職員の気付きや状態変化は、個々の支援経過に記録して、職員の情報共有を徹底している。個別記録を基に評価を実施している。			
28	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	緊急な病院受診の送迎、往診、訪問看護と連携を図る等、柔軟な支援に取り組んでいる。不穏時は、散歩等により気分転換が図られるように配慮した対応も行っている。			
29	○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を發揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議の際、参加者から地域の情報を収集したり、情報交換にて、共に協力関係が築けるように努めている。近くの交番とも協力関係が築けている。			
30 11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医は、本人や家族の希望に沿って柔軟に対応している。訪問診療や訪問看護との連携により健康管理も行っており、必要時は、通院介助も対応している。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
	31	○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとられた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	常勤の看護師を配置している。又、訪問看護リハビリステーションとの契約に基づき、週1回の訪問により、日頃の健康管理や医療面での相談、助言、対応が出来ている。		
	32	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は介護サマリーを作成し、医療機関に情報提供を行っている。又、職員が洗濯物を取りに行く事で状態把握している。病院の相談員や家族とも回復状況等、情報交換しながら速やかな退院支援に結びづけている。		
	33 12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	急変時や終末期における医療等に関する意思確認書を記入して頂き、本人や家族の意向を踏まえて、医師・職員が連携を図り、安心して納得した最期が迎えられるように取り組んでいく。		
	34	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時に対応出来るように緊急時マニュアルを作成している。消防署の協力を得て、蘇生術の研修を実施している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災訓練は、消防署立ち合い訓練・自主訓練を年1回ずつ行って運営推進会議で報告している。両館・併設の夜勤者は一緒に消防のマニュアルを毎日唱和し、安全に対応が行える体制を作っている。又、市の地震・津波防災訓練にも参加している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	個人の尊厳を重視しながら自尊心を傷つけないように排泄介助の声掛けもさりげなく実施している。また、誇りやプライバシーを損ねない言葉遣いに職員全員で取り組んでいる。		
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	日常生活の中で自己決定、自己選択の場面を設けて対応している。意思決定が困難な方には、アセスメントや表情を通じて対応している。		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	その人らしい生活が出来るように入居前の生活習慣を大切にし、生活リズムに合わせて要望を尊重した支援に努めている。		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	自己選択、自己決定のもと支援している。行事、イベント、外出時には化粧やおしゃれを楽しんで頂けるよう努めている。		
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	季節に応じた旬な食材を取り入れた献立を盛り込んでいる。軽作業で、簡単な下揃え・下膳・テーブル拭き・お盆拭き等の手伝いをお願いすると、快く引き受けて下さっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	その人にあった食事形態、量を検討し提供している。基本のメニューは栄養士が作成している。好き嫌いに合わせて代替えによる提供も実施している。食事、水分の摂取量はチェック表にて把握できている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	義歯の方には夕食後にボリデント洗浄による清潔保持、歯がある方は状況に応じた口腔ケア用品を使用しての口腔ケアを実施している。 歯、義歯のトラブルには訪問歯科診療との連携を図り対応している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個人の排泄パターン把握の為、排泄チェック表を作成している。トイレ誘導、ポータブルトイレ使用、オムツ交換等、個々の状況に応じた排泄の支援に努めるように排泄マニュアルを作成している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便を促す食品の提供、十分な水分摂取、適度な運動を実施している。必要時は、主治医への相談にて、個々に応じた予防に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	個人に伺いを立てながら入浴の支援を実施している。一般浴槽、特殊浴槽と準備しており、身体状況も考慮して安心、安全に入浴実施できるよう取り組んでいる。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一日を通して体調や状態に合わせた休憩を自由に取って頂いている。また、夜間良眠を促す為、体調不良等無い場合は、趣味活動、個別活動により日中の覚醒時間を重視している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	誤薬、飲ませ忘れ防止の為、服薬手順マニュアル作成し、職員2名、本人と確認し服薬介助している。病状に変化みられた際には、訪問看護、主治医と連携を図り対応している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴に関連した活動の支援ができるよう取り組んでいる。また、季節行事も実施し、気分転換や季節感を持っていただけるよう努めている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	ご家族様や地域の方との交流について、コロナ禍により制限があり、実施できていない現状もあるが、できる範囲で外気浴、散歩、ドライブ等に出掛けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を持したり使えるように支援している	自分で金銭管理をされている利用者様はいらっしゃらない。本人・ご家族様の意向にてご本人様との買い物の為、施設へ金錢をお預けになっている方はいらっしゃるが買い物での外出においてもコロナ禍にて制限があり、支援できていない現状である。代理で職員が購入している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご本人様から要望があったり、贈り物が届いたりした際、ご家族様へのお礼の連絡支援をしている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	レクリエーションや個別ケアにて制作した作品を掲示したり、季節感ある掲示物で視界に訴えたりと掲示物にも工夫している。また、生活感を感じて頂く為、入居者様より要望のあった水槽を設置し、生活空間作りに取り組んでいる。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思に過ごせるような居場所の工夫をしている	施設玄関ホールにベンチ、ホールにソファー設置を設置して共有スペースとして活用している。お一人でもゆっくりでき、多数でも交流の場として活用されている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用されていた湯呑・茶碗・家具の持ち込み等、使い慣れたものを使用して頂ける工夫をしている。又、家族写真、趣味のものを飾り、ご自分の部屋として認識して頂く工夫に取り組んでいる。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	本人にとって「何が解りにくいのか」を追求して、自分の物だと解る好きな動物の縫いぐるみを置いたり、本人の力でやって頂けるように物の配置等、環境整備に努めている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者の
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいの
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいの
		<input type="radio"/>	4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1 毎日ある
		<input type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	3 たまにある
		<input type="radio"/>	4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない

			1 ほぼ全ての利用者が
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目 : 49)		2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全部面で不安なく過ごせている。 (参考項目 : 30, 31)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目 : 28)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目 : 9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目 : 9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に 1 回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目 : 4)		1 大いに増えている
		○	2 少しづつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目 : 11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない